

第5回校内スピーチコンテスト

SDGsをテーマにスピーチを実践

1月29日、3人の外国人講師とユネスコ協会若鯨部をジャッジとして招き、
第5回スピーチコンテストを、開催しました。
ビニールカーテン越しでしたが、グローバルイシューについてのスピーチを披露しました。





生徒の感想

1年生

- ・内容を読み込んでキングになりきってやると自然と伝えたいという気持ちになって声も出るようになった。
- ・先輩方の発表を聞いて来年自分たちにもできるかという不安を感じた。
- ・2年生の先輩方の発表を見て、私はまだまだと改めて思いましたが、本番は自分の中では一番の発表が出来たと思います。

2年生

- ・去年の先輩たちがすごかったように、頑張ろうと思って取り組んだ。覚えるのは簡単だった。声も去年よりも大きく出た。でも声の抑揚にとっても苦戦した。話す速さとか合わせ方とか、短い時間だったので残りの一週間まで何回も何回もみんなで練習した。よく頑張ったと思う。
- ・英語をしゃべることに少し恥ずかしさを感じていたのが、途中から恥ずかしがって自信なさげにやっていることの方が恥ずかしいということに気づきました。
- ・練習において辛かったことはたくさんあったけれど、それを乗り越えたからこそ、本番で自分の伝えなかったことを皆に伝えることが出来ました。
- ・オーラルの練習は最初の頃、やることさえも嫌になるくらい文章を理解することが難しく、できない自分にもムカついて正直、ストレスにしか感じなかった。けど、最後には自分たちのベストを作り出すことが出来た。逃げ出さずにやり切って本当に良かった。
- ・約 500 の英文を暗記し、抑揚を付けて話すことは、始めはとても難しかったが、やっていくうちにどんどん楽しくなり、二年生の思い出にはっきりと残った。入賞はできなかったが、友達と協力してやったことがたくさんあったので友達との絆もより深まったように感じられた。